

I 団体情報

1 基本情報

...R7評価シート（R6決算）より転記
...R6具体的な行動計画より転記
...新たな記載欄

団体名	(株) 札幌ドーム	所管課	ス) 企画事業課			
基本財産	1,000,000千円	記入者	担当	上原	電話	011-211-3044
設立年月日	平成10年(1998年) 10月1日	本市出資額	550,000千円	(出資割合	55.00%	)
設立・出資目的	(設立目的) 札幌ドームの施設規模や事業内容から、市直営や既存の公益法人等による運営が困難であったことから、民間のノウハウを活用し、収益性を確保した安定経営が可能となるよう、同施設の管理・運営を担う新会社を設立したもの。 (出資目的) 公の施設である札幌ドームの管理運営を行うに当たっては、民間のノウハウを最大限活用した効率的な経営が求められる一方で、札幌市の方針及び施策を深く理解したうえで、公平性・公益性を担保した管理・運営を行う必要があることから、市が出資しているもの。	沿革	平成10年	設立		
代表者	代表取締役社長（常勤） 阿部 晃士（市以外）					
主な出資者	① 札幌市 (55.0%)		② 札幌商工会議所	北海道電力	各	(5%)
	③ 北洋銀行 北海道銀行 北海道瓦斯 北海道新聞社		サッポロビール	西武不動産	各	(3%)

配当金の状況

保有株数	20,000株		
配当状況	過去配当歴 あり		
	配当額	配当率 (年)	1株当たり 配当
R2	20百万円	2.00%	1,000円
R3	0円	0.00%	0円
R4	20百万円	2.00%	1,000円
R5	20百万円	2.00%	1,000円
R6	円	%	円

2 実施事業

① 貸館事業（イベント誘致や開催サポート等）	② 商業事業（イベント開催時などの飲食店舗管理）
③ 観光事業（展望台の管理・運営）	④ 市民利用事業（トレーニング室の開放等）
⑤	⑥
⑦	⑧

⇒「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤取締役	1		2	1	14
常勤監査役				1	
非常勤取締役			7		
非常勤監査役			2		
職員					
常勤管理職		1	14		37
常勤一般職			22		
非常勤職員					

役員の任期	
取締役	2 年
監査役	4 年
代表権のある役員の 就任年月	
取締役	H29.6
監査役	
職員総数の推移(人)	
R05.4.1時点	61
R06.4.1時点	54

令和7年4月1日現在(単位：人)

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	7
20歳代	4	50歳代	13
30歳代	12	60歳代	0
平均年齢		43	歳

プロパー職員の退職・採用状況（人）					
	退職		採用		募集
	定年	中途	新卒	中途	
R4	0	5	0	0	0
R5	1	3	0	1	1
R6	3	4	0	3	若干
R7	1	1	0	4	若干

補足

- 令和7年度以降約5年間、定年退職者が集中するため、各年欠員補充が必須である。
- 中途（若手）社員の退職が相次いでおり、若年層の補充が急務である。
- 専門的な知識が必要な部署（例：経理財務課など）に配置する人員の育成が課題である。

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分		R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,385,499	1,887,164	(100.0%) (+501,665)
	損益計算書	売上高 (a)	1,271,771	1,787,505	(+515,734)
		営業費用 (b)	1,944,288	1,843,650	(▲ 100,638)
		うち販売費・一般管理費 (c)	477,975	336,516	(17.8%) (▲ 141,459)
		うち人件費(d)	478,682	444,090	(23.5%) (▲ 34,592)
		営業利益 (e)	▲ 672,517	▲ 56,145	(+616,372)
	営業外	営業外収益 (f)	113,728	99,659	(▲ 14,069)
		当期純利益(g)	▲ 651,153	42,984	(+694,137)
	貸借対照表	資産(h)	3,127,642	3,292,756	(+165,114)
		流動資産(i)	2,850,131	3,028,857	(+178,726)
		固定資産(j)	277,511	263,899	(▲ 13,612)
		負債(k)	580,160	702,289	(+122,129)
		流動負債(l)	503,687	672,015	(+168,328)
		固定負債(m)	76,473	30,274	(▲ 46,199)
		純資産(n)	2,547,483	2,590,467	(+42,984)
		資本金(o)	1,000,000	1,000,000	(0)
		借入金残高(p)	0	0	(0)

6 所管局による検証（R6行動計画より）

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れること。)	(1) 団体の在り方、出資の在り方 札幌ドームは、平成13年に公の施設では他に類を見ない大規模な全天候型多目的施設として開業して以降、ワールドカップサッカー、冬季アジア大会、ラグビーワールドカップ2019、東京2020などの国際大会の会場になってきたほか、プロスポーツ、コンサート、展示会など様々な大規模イベントが開催されており、札幌市のスポーツの普及振興、市民文化の向上並びに地域経済の活性化の拠点として大きな役割を果たしてきた。 以上のとおり、市政にとって重要な施設である札幌ドームの管理運営を担う当該団体は、施設の安定運営と市の施策との運動が強く求められることから、当面の間（少なくとも現指定管理期間中）は出資を継続することで、市が経営に関与する必要があるものと考えられる。 一方で、北海道日本ハムファイターズの本拠地移転等に伴う経営環境の変化により、令和5年度は同団体の過去最大となる約6.5億円の赤字となるなど、経営の改善が課題となっている。 また、札幌ドーム周辺地域スポーツ交流拠点の形成に向けた民間事業者からの提案において、札幌ドーム敷地内にアリーナを建設し、札幌ドームも含めて一体的に運営することが提案されたところである。 よって、次期指定管理更新（2028年度～）に向けては、当該団体以外の民間事業者が札幌ドームを運営する可能性も含めて、将来的な札幌ドームの管理運営方法及び当該団体の在り方について幅広く検討していく (2) 経営の安定性や自立を高める方策 北海道日本ハムファイターズの本拠地移転（令和5年～）や昨今の物価高騰等により、厳しい経営環境にあるが、新たなイベント誘致・開催による貸館収入の増収や、ネーミングライツ等の新たな広告料収入の確保、利用者サービスを低下させない範囲での経費削減など収支改善に向けた取組を進め、黒字化を目指すこととしている。 また、次期指定管理者更新（2028年度～）に向けては、民間ノウハウ・活力を最大限に活かすことも含めた運営体制の抜本的な見直しに加えて、行政的な支援の在り方についても検討し、将来にわたって安定的な経営が可能な仕組みを検討する必要がある。
--	---

7 他の政令指定都市の状況

他都市の大規模ドーム施設（東京ドーム、福岡ドーム、大阪ドーム、ナゴヤドーム、西武ドーム）は、いずれもプロ野球中心の利用を意図して作られた野球場であるため、運営についても、当該野球場をフランチャイズとする球団またはその関連会社が運営している。 札幌ドームのように、建設時において、プロ野球中心の利用が前提とされていない、大規模・全天候型多目的施設はほかになく、そうした施設の運営を主要な事業とする外郭団体も、(株)札幌ドームのほかにない。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	140,460	223,803	(+83,343)
市委託料	89,046	73,146	(▲ 15,900)
市業務委託料	10,331	10,976	(+645)
うち随意契約	10,331	10,976	(+645)
市指定管理費	78,715	62,170	(▲ 16,545)
うち非公募	78,715	62,170	(▲ 16,545)
(参考) 再委託額	10,331	10,976	(+645)
うち市業務委託分	10,331	10,976	(+645)
再委託率	11.6%	15.0%	(+3.4%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	665,203	860,442	(+195,239)
うち非公募	665,203	860,442	(+195,239)

II 事業ごとの状況

事業内容 1	貸館事業（イベント誘致や開催サポート等）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	…R7評価シート（R6決算）より転記 …R6具体的な行動計画より転記
		○	○	○	○	
主要事業名	貸館事業（広告・駐車場事業等を含む）	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①貸館事業（イベント誘致やイベント運営のサポートを含む）	市補助金	56,460（千円）
②自主事業	（市支出なし）	0（千円）
・自主イベント（北ガスグループリレーマラソン、ふわふわアドベンチャー、サッポロモノヴィレッジ、大ほっかいどう祭）		
・友の会組織（メンバーズクラブ）事業		
・チケット販売、管理		
・広告事業 ・コインロッカー事業 ・セールスプロモーション事業		
③施設設備の維持管理	市指定管理費（非公募）	62,170（千円）
④駐車場の管理運営		
⑤周辺環境対応業務（札幌ドームの周辺の迷惑駐車防止の対策など）	市委託料（随意契約）	10,976（千円）
⑥広報・PR活動	（市支出なし）	0（千円）
⑦アマチュアスポーツ大会の実施	市補助金	167,343（千円）

2. 実施結果

(1)事業収支（単位：千円）		
項目	R5年度	R6年度
収入	1,172,495	1,708,194
（経常収益比）	（+84.6%）	（+90.5%）
市補助金・交付金・負担金	127,691	223,803
市業務委託料	9,392	10,976
市指定管理費	78,715	62,170
市施設利用料金収入	588,388	767,305
自主事業収入（補助金除く）	208,425	341,253
その他収入	159,884	302,687
項目	R5年度	R6年度
費用（支出）	1,691,288	1,664,339
事業費	1,273,492	1,358,899
管理費等	417,796	305,440
項目	R5年度	R6年度
収支差	▲ 518,793	43,855
収支比率	69.33%	102.63%

(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	自主イベント開催日数	12	10	10
②	アマチュアスポーツ大会開催日数	20	27	28
③				
④				
⑤				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	札幌ドームクローズドアリーナ稼働率	62.60%	68.50%	70.40%
②	イベント来場者数	997,397	914,100	1,112,940
③				
④				
⑤				

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は ☒十分出ている ☐高める余地あり ☐出していない

サッカー、ラグビーなどのプロスポーツの試合開催により国内最高峰のスポーツを観戦する機会を市民・道民に対し幅広く提供したほか、アマチュアスポーツ大会の開催を受入れ、利用料金の減額等を実施するなど、市民・道民が札幌ドームを直接利用してスポーツを実施する機会の確保に努めた。

また、花火大会、eスポーツ世界大会、雪まつり特別連携行事等の多様なイベントを開催したことで、クローズドアリーナの稼働率及びイベント来場者数は前年度から上昇し、目標を達成した。

事業内容2	商業事業（イベント開催時などの飲食店舗管理）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記
		○	/	×	○	...R6具体的な行動計画より転記
主要事業名	商業事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性] イベント開催日及び非イベント日における札幌ドームの来場者に対して、飲食物販事業等により利便を提供する。				

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①通年営業飲食店舗の管理・運営	(市支出なし)	0 (千円)
②イベント開催時営業の飲食売店及び仲売業務の管理・運営		
③通年営業物販店舗の管理・運営(R5年より)		
④イベント開催時営業の物販ワゴン販売の管理・運営 ほか		

2.実施結果									
(1)事業収支（単位：千円）				(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	
収入	項目	R5年度	R6年度	①	販売促進キャンペーンの実施回数	10	10	10	
	(経常収益比)	(+13.8%)	(+9.8%)	②					
	市補助金・交付金・負担金	0	0	③					
	市業務委託料	0	0	④					
	市指定管理費	0	0	⑤					
	市施設利用料金収入	0	0	(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	
	自主事業収入（補助金除く）	191,729	184,710	①	商業事業売上（千円）	186,693	174,744	175,695	
	その他収入	0	0	②					
	項目	R5年度	R6年度	③					
	費用（支出）	185,680	125,674	④					
				⑤					
				3.所管局による評価					
				事業目的に対して事業の効果は □十分出ている ■高める余地あり □出していない					
				販売促進キャンペーンの実施回数は目標値を達成し、商業事業売上は目標値を上回っていた。「飲食事業」では食品衛生講習会などを実施し、食の安全を最優先に衛生管理を徹底したうえで、来場者ニーズを反映した商品内容・価格帯の多様化に努め、来場者サービスの向上に繋げた。また、北海道コンサドーレ札幌と協力したメニュー開発など、食のエンターテインメント性を高める取組みを行った。「物販事業」においても、北海道コンサドーレ札幌と連携して来場者促進に努めた。 なお、飲食事業については、イベント主催者等と連携し、魅力的な商品の提供に努める等により、更なる来場者サービス向上に期待する。					

事業内容3	観光事業（展望台の管理・運営）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記
		×	×	○	○	...R6具体的な行動計画より転記
主要事業名	観光事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		札幌の観光拠点のひとつとして、札幌ドームの年間を通じた幅広い集客を促進するとともに、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業を展開する。		

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①ドーム展望台事業の管理・運営	(市支出なし)	0 (千円)
・展望台運営		
・来場者サービス（季節装飾設置、旅行会社とタイアップした各種割引、企画展の実施など）		
②ドーム見学ツアー事業の管理・運営、カプセルトイの販売		

2.実施結果				
(1)事業収支（単位：千円）	項目	R5年度	R6年度	
	収入	7,353	3,659	
	(経常収益比)	(+0.5%)	(+0.2%)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	
	市業務委託料	0	0	
	市指定管理費	0	0	
	市施設利用料金収入	3,853	2,982	
	自主事業収入（補助金除く）	3,500	677	
	その他収入	0	0	
	項目	R5年度	R6年度	
	費用（支出）	34,065	22,957	
	事業費	25,650	18,744	
	管理費等	8,415	4,213	
	項目	R5年度	R6年度	
	収支差	▲ 26,712	▲ 19,298	
	収支比率	21.59%	15.94%	
(2)活動指標				
① 札幌市や旅行会社等とのタイアップ企画の実施回数		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
② ※上記には市内観光施設との相互連携を含む		30	31	29
③				
④				
⑤				
(3)成果指標				
① 観光来場者数		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
②		16,933	14,057	9,148
③				
④				
⑤				
3.所管局による評価				
事業目的に対して事業の効果は ☐ 十分出ている ☒ 高める余地あり ☐ 出していない				
事業目的の達成に向け、札幌市や旅行会社等のタイアップ企画、市内観光施設との相互連携策を継続して実施した。また、季節感を出した装飾設置の継続に加え、海外向け観光案内媒体への出稿やウェブサイトの翻訳機能、多言語案内可能なデジタルサイネージの設置により、海外からの観光客の取り込みも行うなど、年間を通じた幅広い集客に努め、事業目的の達成に向けた事業展開を図っている。				
非イベント日の施設活用は課題のひとつであるため、展望台を活用した事業展開の検討や、イベントの実施など、観光拠点としての更なる魅力アップに向けた取組みが望まれる。				

事業内容 4	市民利用事業（トレーニング室の開放等）	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		×	/	○	○	
主要事業名	市民利用事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興を促進する。			

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①クローズドアリーナにおける草野球等の市民への利用開放	(市支出なし)	0 (千円)
②サッカー練習場の市民への利用開放		
③トレーニング室の利用管理		
④ブルペンの利用開放(2022.7より)		
⑤運動教室・ナイトランの実施（自主事業）		
⑥キッズパーク、スケートボードエリア、レバンガコートの利用管理		
⑦ゆきひろば関連事業		

2.実施結果

(1)事業収支（単位：千円）			(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
項目	R5年度	R6年度	①	市民利用における自主事業開催日数	57	56	35
収入	13,923	13,741	②				
（経常収益比）	(+1.0%)	(+0.7%)	③				
市補助金・交付金・負担金	0	0	④				
市業務委託料	0	0	⑤				
市指定管理費	0	0					
市施設利用料金収入	12,489	11,932	(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
自主事業収入（補助金除く）	1,434	1,809	①	草野球等利用の利用者数	968	1,000	692
その他収入	0	0	②	サッカー練習場の利用者数	14,363	15,400	11,767
			③	トレーニング室の利用者数	22,517	27,800	26,977
			④	ブルペンの利用人数	767	800	946
			⑤				
項目	R5年度	R6年度	3.所管局による評価				
費用（支出）	20,580	19,028	事業目的に対して事業の効果は ☐ 十分出ている ☒ 高める余地あり ☐ 出していない				
事業費	15,496	15,536	プロ野球やプロサッカーで使用する屋内アリーナやサッカーグラウンドを市民利用に供することで、高品質な施設で市民が野球・サッカーを楽しめる場を提供したが、ホヴァリングサッカーステージの芝の生育不良に起因した屋外サッカー場の供用制限もあり、利用者数が目標に達しなかった。				
管理費等	5,084	3,492	また、前年度に引き続き、3階コンコースをランニングコースとして開放する「ナイトラン」事業実施のほか、パワープレートやパートナーストレッチなどのサービスを実施するなど、自主事業の展開も含めた利用促進を図った。				
			今後は、サッカーステージの早期供用再開に努め、また、スケートボードエリアやバスケットコートエリアの活用促進を進めるとともに、ゆきひろばの利用者拡大を期待する。				
項目	R5年度	R6年度					
収支差	▲ 6,657	▲ 5,287					
収支比率	67.65%	72.21%					

III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

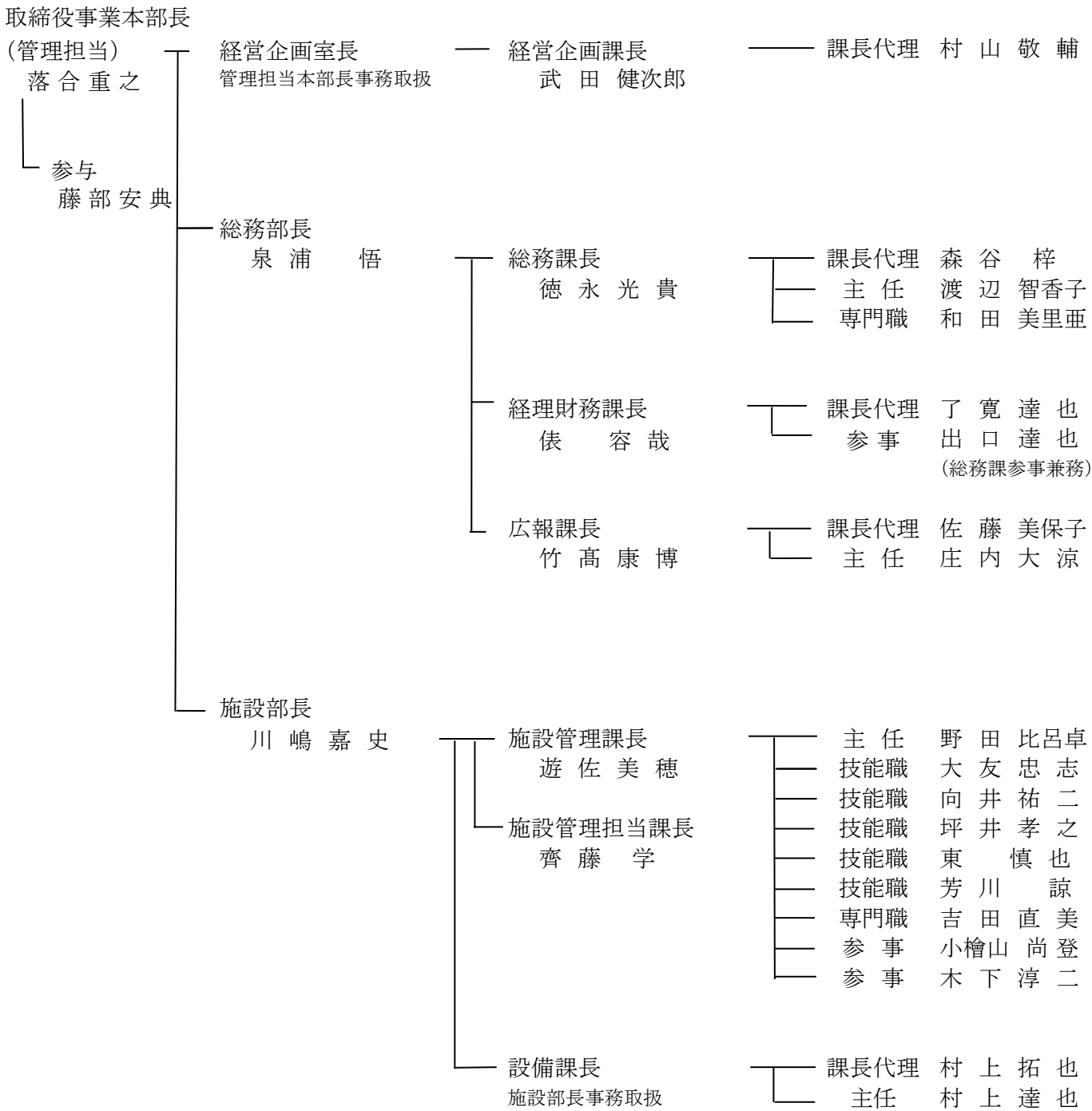
OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	R〇.〇		（R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください）
現職	非常勤役員	取締役副社長	副市長	R7.6		
現職	常勤役員	専務取締役	局長職	R7.6	株式会社札幌ドームの経営全般の監督	当該団体は、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与することを目的とした公の施設である札幌ドームを、適切に管理・運営するために設立された団体であり、その管理・運営にあたっては、本市の方針及び施策を深く理解したうえで、公平性・公益性を担保する必要がある。 そのため、本市が同社の経営に積極的に関与するとともに、同社と密接に連携し、本市の意向を施設運営や会社経営に的確・迅速に、また、高度な視点から反映させることが必要である。 加えて、現在は、次期指定管理期間に向けて、同社の組織体制の在り方や課題への対応等について整理していくべき時期である。 こうした状況を踏まえ、幅広い行政知識とマネジメント能力を有し、会社全般の経営の監督を担うことができる局長職の職員を派遣する必要があるため。

株式会社札幌ドーム
会社組織図

代表取締役社長 阿部晃士
取締役副社長 加藤修
専務取締役 北川憲司
取締役事業本部長(管理担当) 落合重之
取締役事業本部長(事業担当) 西出幸広
常勤監査役 池田浩之

現職・非常勤
職位：副市長
着任：R7.6

現職・常勤
職位：局長職派遣
着任：R7.6



〔経営企画課〕

- ① 経営計画の策定に関する事項
- ② 年度予算の基本方針の策定に関する事項
- ③ 経営方針に係る重点施策の総合調整に関する事項
- ④ 組織及び業務分掌に関する事項
- ⑤ 取締役会、経営会議及び事業本部会議に関する事項
- ⑥ コンプライアンス委員会に関する事項
- ⑦ CSR・環境活動の推進に関する事項
- ⑧ 指定管理者申請に関する事項
- ⑨ 情報システムの運用管理に関する事項
- ⑩ 監査役会及び内部監査に関する事項
- ⑪ その他特命事項に関する事項

〔総務課〕

- ① 人事・給与、福利厚生等に関する事項
- ② 規則・規程類の制定改廃及び契約締結に関する事項
- ③ 文書、物品管理に関する事項
- ④ 株主総会に関する事項
- ⑤ 各種照会、視察対応に関する事項
- ⑥ 札幌市等との連絡調整に関する事項
- ⑦ その他、他部課に属さない事項

〔経理財務課〕

- ① 収入・支出管理及び決算に関する事項
- ② 会計監査・税務調査に関する事項
- ③ イベント売上等の現金管理に関する事項
- ④ 資産運用・管理に関する事項
- ⑤ 与信管理に関する事項

〔広報課〕

- ① 戦略的広報及び企業プロモーションの統括に関する事項
- ② 取材・報道対応及びこれに係る連絡調整に関する事項
- ③ ウェブサイト等の運営管理に関する事項
- ④ メモリアルコーナーの企画運営に関する事項
- ⑤ マスコットキャラクターの運営管理に関する事項
- ⑥ コールセンターの運営管理に関する事項

〔施設管理課〕

- ① 防火・防災管理に関する事項
- ② 施設警備・清掃業務に関する事項
- ③ 駐車場運営管理に関する事項
- ④ グラウンド・芝生管理に関する事項
- ⑤ 外構、緑地・植栽管理に関する事項
- ⑥ 近隣住民に関する事項

〔設備課〕

- ① 施設設備運転管理・保全に関する事項
- ② エネルギー管理に関する事項
- ③ 場面転換業務に関する事項
- ④ 工事等の実施に関する事項

〔営業一課〕

- ① サッカー、野球、その他スポーツ等のイベント誘致営業及び貸館利用手続並びに主催者対応に関する事項
- ② イベント運営管理、運営サポート及びイベント物販に関する事項
- ③ 広告・ネーミングライツ事業の企画運営に関する事項
- ④ 札幌ドームメンバーズクラブの企画運営に関する事項
- ⑤ チケットの販売管理に関する事項

〔営業二課〕

- ① コンサート、コンベンション等のイベント誘致営業及び貸館利用手続並びに主催者対応に関する事項
- ② イベント運営管理、運営サポート及びイベント物販に関する事項

〔営業三課〕

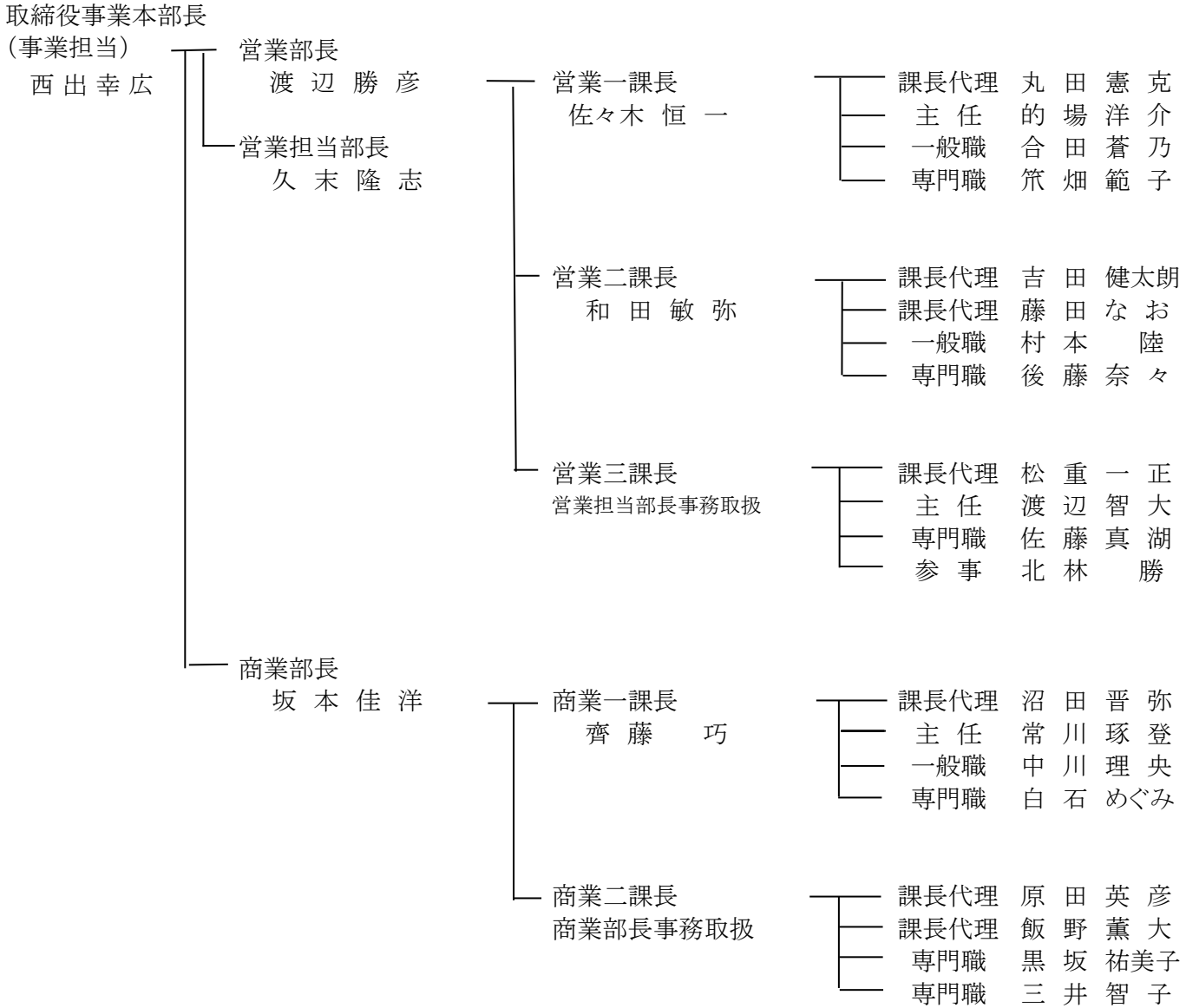
- ① 自主・共催イベント等の企画運営に関する事項
- ② 営業三課が誘致したイベントの貸館利用手続及び主催者対応に関する事項
- ③ イベント物販に関する事項

〔商業一課〕

- ① 飲食事業の企画運営に関する事項
- ② 飲食店舗・売店の運営管理(売店事業者の誘致等を含む)に関する事項
- ③ 弁当販売、ケータリング等に関する事項

〔商業二課〕

- ① 観光事業(土産販売、ゆきひろば事業を含む)の運営管理に関する事項
- ② キッズパークの運営管理に関する事項
- ③ 市民利用事業に関する事項
- ④ 札幌ドーム事業全体の販売促進に関する事項
- ⑤ 札幌ドーム事業全体の販売促進に関する事項



株式会社札幌ドーム 役員名簿

(令和7年6月23日現在)

＜取締役 11名＞ 任期；令和8年6月定時株主総会終結の時まで

代表取締役社長	阿 部 晃 士	
取締役副社長	加 藤 修	札幌市副市長
専務取締役	北 川 憲 司	
取締役	落 合 重 之	当社事業本部長（管理担当）
同	西 出 幸 広	当社事業本部長（事業担当）
同	紫 藤 正 行	札幌商工会議所副会頭
同	新 沼 彰 人	北海道電力(株)常務執行役員
同	八 木 渉	北海道瓦斯(株)常務執行役員
同	佐 保 田 昭 宏	(株)北海道新聞執行役員企画室長
同	牧 野 成 寿	サッポロビール(株)上席執行役員北海道本社代表
同	木 村 平	(株)電通北海道代表取締役社長執行役員

＜監査役 3名＞ 任期；令和8年6月定時株主総会終結の時まで

常勤監査役	池 田 浩 之	札幌商工会議所統括調査役
監査役	草 薨 金 矢	草薨金矢税理士事務所所長
同	権 平 宗 中	(株)北洋銀行執行役員